

# 令和2年度第1回 通常総会議事録

1 日 時 令和2年7月20日(月) 午後3時30分

2 場 所 沖縄県市町村自治会館4階 第4・5・6会議室

3 出席者 別添、出席者名簿のとおり

4 役員 座嘉比常務理事、高良事務局長、大城事務局次長、古堅事務局次長  
植木保険者支援課長、喜友名審査管理課長  
川満システム管理課長、比嘉介護福祉課長

## 5 議 題 (専決報告事項)

専決報告第 1号 令和元年度沖縄県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払特別会計  
(業務勘定)歳入歳出補正予算(第3回)について

専決報告第 2号 令和元年度沖縄県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払特別会計  
(公費負担医療に関する診療報酬支払勘定)歳入歳出補正予算(第3  
回)について

専決報告第 3号 令和元年度沖縄県国民健康保険団体連合会後期高齢者医療事業関係業  
務特別会計(業務勘定)歳入歳出補正予算(第2回)について

専決報告第 4号 令和2年度沖縄県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払特別会計  
(業務勘定)歳入歳出補正予算(第1回)について

専決報告第 5号 令和2年度沖縄県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払特別会計  
(公費負担医療に関する診療報酬支払勘定)歳入歳出補正予算(第1  
回)について

専決報告第 6号 令和2年度沖縄県国民健康保険団体連合会後期高齢者医療事業関係業  
務特別会計(業務勘定)歳入歳出補正予算(第1回)について

専決報告第 7号 令和2年度沖縄県国民健康保険団体連合会後期高齢者医療事業関係業  
務特別会計(公費負担医療に関する診療報酬支払勘定)歳入歳出補正  
予算(第1回)について

## (議決事項)

議案第 1号 令和元年度沖縄県国民健康保険団体連合会事業実績の認定について

議案第 2号 令和元年度沖縄県国民健康保険団体連合会一般会計歳入歳出決算の認  
定について

議案第 3号 令和元年度沖縄県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払特別会計  
歳入歳出決算の認定について

議案第 4号 令和元年度沖縄県国民健康保険団体連合会後期高齢者医療事業関係業  
務特別会計歳入歳出決算の認定について

- 議案第5号 令和元年度沖縄県国民健康保険団体連合会特定健康診査・特定保健指導等関係業務特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第6号 令和元年度沖縄県国民健康保険団体連合会介護保険事業関係業務特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第7号 令和元年度度沖縄県国民健康保険団体連合会障害者総合支援法関係業務等特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第8号 令和元年度沖縄県国民健康保険団体連合会母子保健健康診査費審査支払特別会計歳入歳出決算の認定について  
令和元年度決算監査報告  
独立監査人の監査報告書
- 議案第9号 沖縄県国民健康保険団体連合会駐車場管理特別会計経理規則の制定について
- 議案第10号 令和2年度沖縄県国民健康保険団体連合会駐車場管理特別会計歳入歳出予算について
- 議案第11号 令和2年度沖縄県国民健康保険団体連合会一般会計歳入歳出補正予算(第1回)について
- 議案第12号 沖縄県国民健康保険団体連合会役員の補充選任について

司 会

みなさん、こんにちは。  
ただいまより、令和2年度第1回 通常総会を開催いたします。  
本日の司会を務めます、総務課 課長補佐の「稲嶺 安洋」です。  
よろしく申し上げます。

会議を始めます前に、配布資料を確認します。

本日の資料は、

「令和2年度第1回通常総会議案」

A4縦の「令和2年度第1回通常総会 説明資料」そして、

A4縦の「参考資料」です。

以上の3種類です。不足があればお申し出ください。

#### <配付資料の確認>

それでは、本日の出席状況について、ご報告いたします。

本日の出席状況は、本人等の出席が37名

書面出席が 5名でございます。

よって、国民健康保険法施行令第13条及び第26条の規定により定足数に達しておりますので、本日の総会は成立いたしましたことをご報告申し上げます。

開会にあたり、本会理事長 <sup>しもじ</sup> 下地 <sup>としひこ</sup> 敏彦 宮古島市長からご挨拶を申し上げます。

#### < 理事長の挨拶 >

議 長

(下地敏彦

宮古島市長)

令和2年度「第1回通常総会」を開催するにあたり、ご挨拶を申し上げます。

総会の開催方法につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されることから、「書面決議」或いは「テレビ会議」による開催を検討しておりましたが、県内の感染状況などを踏まえ、また、会場内での感染防止策を努めることを前提として、例年どおりの開催になりましたことに、ご理解を賜りたいと存じます。

国保の財政運営の責任主体は、平成30年度から都道府県へ移行しましたが、国保財政は依然として厳しい状況が続いております。

加えて、今年度においては、新型コロナの影響による経済状況の悪化に伴い、国保加入者の廃業、失業などにより、国保税の減免・徴収猶予などが増加することが懸念され、さらに、厳しくなることが予測されます。

また、各市町村の財政状況におきましても、新型コロナの影響を受けた地域住民や事業者に対する各市町村としての独自支援策のため、未曾有の逼迫した状況になると推測され、一般会計から国保財政に対する赤字額補てんが出来なくなる可能性もあります。

本県の市町村国保が赤字となる大きな要因は、言うまでもなく「前期高齢者交付金制度」が本県に不利に働いていることは明らかであります。

私は、理事長就任後からこの「前期高齢者問題」を要因とした赤字改善に向けては「最重要課題」として取組んで参りました。

そこで、今年度においても、現在、調整しているところではありますが、沖縄県の「沖縄振興関係」の予算要求に合わせ、県市長会、県町村会らと共に、県内市町村の保険者を代表して、また、県内市町村長の生の声を訴えるため、国へ財政支援を国に要請する方向で進めているところでございます。

会員である皆さま方のご期待に添えるよう尽力して参りますので、皆さま方のご協力を宜しくお願いいたします。

最後に、本日の議案は、専決報告事項7件、議決事項12件となっております。

議案につきましては、去る7月3日の理事会で慎重に審議し、本総会へ提出しておりますので、ご審議のうえ、ご承認くださいますようお願い申し上げ、私のご挨拶といたします。

#### <理事長降壇>

それでは、議長の選出に移らせていただきます。

議長は、国民健康保険法施行令第12条の規定により総会で選挙することになっております。どなたか立候補又は推薦する方がいらっしゃいますか。

< 北谷町 野国 昌春 町長 推薦の声 >

ただいま、北谷町 の 野国 昌春 町長 を推薦する声がありますが、よろしいでしょうか。

<異議なしの声>

司 会

ありがとうございます。

ご異議がございませんので、議長に北谷町の野国<sup>のくに</sup>昌春<sup>まさはる</sup>町長を選出したいと存じます。

野国町長、よろしくお願いいたします。

#### <議長登壇>

議長

ただいま、議長に選出されました北谷町の野国でございます。

本日の議案審議が、円滑に運ばれますよう皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。

なお、議事録署名人につきましては、国民健康保険団体連合会規約第18条の規定により、議長があたることになっております。

それでは、これより議事を進めてまいります。

本日の審議事項は、専決報告事項7件、議決事項12件となっております。

はじめに、専決報告第1号から専決報告第7号までを一括して議題とします。

事務局の説明を求めます。

#### <事務局説明>

喜友名  
審査管理  
課長

審査管理課長の「喜友名 均」です。よろしくお願いいたします。

(説明資料を掲げながら)

これからの説明は、資料1「提出議案説明資料」により、ご説明します。

では、1頁をご覧ください。

この説明資料は、議案名の右端に、括弧書きで議案書の頁番号を記載しておりますので、議案書に目を通される際にご活用ください。

なお、説明では、本会の名称であります「沖縄県国民健康保険団体連合会」は省略し、数字につきましては、千の単位で説明します。

では、1頁、専決報告第1号の下にある「補正の説明」をご覧ください。

この補正は、

①手数料等の歳入増及び経費削減等により歳出減となった経費を、審査支払業務等の高度化等に備え、ICT積立資産へ積み立てるためなどの理由により補正いたしました。

植木 保険者支援 課長	<p>その結果、予算の総額に 「2,800万円」増額し、補正後の予算総額を 「12億8,833万円」としました。</p> <p>保険者支援課長の「植木 覚」です。よろしくお願ひします。 次に、2頁の専決報告第2号をご覧ください。 この補正は、こども医療費助成事業支出金が当初見込みを上回ったため、補正いたしました。</p>
喜友名 審査管理 課長	<p>その結果、予算の総額に 「2億4,800万円」増額し、補正後の予算総額を 「69億5,666万1千円」としました。</p> <p>次に、専決報告第3号をご覧ください。 この補正は、①損保会社等からの求償金受入金の増、②歳入の繰入金及び歳出の総務費、事業費の減は、後期高齢者医療審査支払システム更改経費が全国一括入札により大幅に削減したこと等による補正です。</p> <p>その結果、予算の総額から 「1億4,520万1千円」減額し、補正後の予算総額を 「7億3,556万8千円」としました。</p> <p>次に、3頁の専決報告第4号から4頁の専決報告第7号をご覧ください。 この補正は、急遽、5月から新型コロナウイルス感染症のPCR検査等の審査支払業務を本会が行うことになったことに伴う手数料と公費負担医療の補正です。</p> <p>その結果、 専決報告第4号と専決報告第6号においては予算総額に変更はありませんが、今後、新型コロナウイルスに関連した手数料収入が見込まれることから、それぞれの目に「感染症審査支払手数料」を新設しました。</p> <p>次に、専決報告第5号では、予算の総額に「5,913万円」増額し、補正後の予算総額を「75億6,259万5千円」としました。 また、専決報告7号では、予算の総額に「2,026万8千円」増額し、補正後の予算総額を「5億3,573万8千円」としました。</p>

なお、専決報告第1号から第7号までは、業務執行上緊急を要したため、国民健康保険法及び本会規約に基づき理事長の専決処分とし、本総会へ報告して承認をいただくものです。

以上、よろしく申し上げます。

議 長

事務局の説明が終わりました。  
質問がありましたらよろしく申し上げます。

<進行の声>

議 長

それではお諮りします。  
専決報告第1号から専決報告第7号まで、承認することにご異議ありませんか。

<異議なしの声>

議 長

ご異議なしと認めます。  
よって、ただいまの7件は承認されました。

次は、議決事項の審議に入ります。  
議案第1号を議題とします。  
事務局の説明を求めます。

<事務局説明>

高良  
事務局長

事務局長の「高良 昌英」です。よろしく申し上げます。

それでは、5頁の議案第1号をご覧ください。

ローマ数字の「I 一般状況」の1は会員等の状況、2は役員の状況です。  
3は事務局の機構及び職員の状況ですが、6課10係で職員が48名、専門員・相談員・臨時職員を合わせると151名となっています。

また、4から7の各種委員会を、設置・運営しています。

<p>大城 事務局次長</p>	<p>事務局次長の「大城博之」です。よろしくお願ひします。 次に、6頁をご覧ください。 ローマ数字「Ⅱ 事業実施状況」ですが、総会において議決された事業計画に基づいて実施しました。</p> <p>まず、「1 本会運営に関する事業」では、関係規定に基づき、 (1)の総会、(2)理事会、(3)の監事会を開催しました。 また、(4)の国保事業推進幹事会(5)独立監査人による監査及び (6)職員による部内監査を毎月実施しました。</p> <p>「2 国保制度改善強化推進事業」では、国保制度の安定化を図るため、令和元年1月に国保関係者が参加して「国保制度改善強化全国大会」が開催され、要請決議を衆参議員、政党及び政府関係者に陳情しました。</p>
<p>植木 保険者支援 課長</p>	<p>次に、7頁をご覧ください。 「3 育成指導・事業振興に関する事業」では、国保を取り巻く情勢や実務的な情報を提供する目的で、 (1)の【市町村職員等を対象とした会議や研修会】から、8頁の (4)【統計資料の作成】事業を行いました。</p> <p>続いて、「4 国保広報共同事業」では、国保制度の趣旨を広く県民にPRするため、9頁の (2)テレビ及びラジオ等による「3分間番組 がんじゅうタイム」や「国保税(料)納付促進」等のCMを放送しました。</p>
<p>比嘉 介護福祉 課長</p>	<p>介護福祉課長の「比嘉 孝夫」です。よろしくお願ひします。 11頁をご覧ください。 「5 介護保険広報共同事業」では、介護保険制度の趣旨を広く県民にPRするため(2)テレビ、ラジオ等活用した広報では天気予報フィラーによる「ちゃ〜がんじゅう体操」や「認知症の方や介護者への支援編」のCMを放送しました。</p>
<p>植木 保険者支援 課長</p>	<p>続いて、12頁をご覧ください。 「6 第三者行為求償事務処理事業」では、損害賠償求償事務を実施し、「2億4,599万2千円」を損保会社等から収納しました。</p>

「7 レセプト点検事務共同事業」では、医療費の適正化を支援するため、コンピューターチェックや、医療事務の資格を持った職員による二次点検を実施し、

(3) 処理状況のとおり、過誤調整にて「103万1千点」、再審査にて「930万2千点」を査定しました。

次に、「8 保健事業に関する事業」では、

(1) 【特定健診等費用決済業務及びデータ管理業務】において、年間「15万5千件」「11億2,746万8千円」の費用決済を行いました。

ここで13頁の赤い点線囲み枠をご覧ください。

①令和元年度特定健診受診率は、速報値で37.3%となり、昨年と同じ時期に比べ0.3ポイント減少しております。

②特定健診受診率は「保険者努力支援制度交付金」の重要な指標です。新型コロナの影響等により、沖縄県全体の特定健診受診率がさらに低下するのではないかと懸念していますので、是非、市町村長の陣頭指揮による「全庁体制の受診勧奨」をお願い致します。

(2) の【国保・後期高齢者ヘルスサポート事業の実施】では、ア～ウの事業をとおして保健師等の専門職の資質向上を図りました。

14頁をご覧ください。

(4) の【沖縄県医師会の「おきなわ津梁ネットワーク」への参画・連携】では、生活習慣病の治療等を切れ目なく行えるよう、このネットワークの運営に参画しております。

参加機関数は令和2年3月末時点で「194機関」、登録者数は「56,167人」です。

ここで赤い点線囲み枠をご覧ください。

①津梁ネットワークの機能では、患者の同意により過去の病歴などを共有し、救急医療や災害現場、新型コロナウイルス感染症対策への活用も検討しています。

②医療費適正化の観点からも、登録者数を増やしていくことで、より、津梁ネットワークの効果が期待できます。

(6) の【沖縄県保険者協議会との連携】では、各医療保険者と連携協力して沖縄県民全体の健康保持増進を図るための事業を実施しました。

<p>古堅 審査担当 次長</p>	<p>事務局次長の「古堅一也」です。よろしくお願ひします。 次に、16頁をご覧ください。 「9 診療報酬審査支払事業」では、毎月約79万件のレセプトの診療報酬を保険医療機関等へ支払うため、効率的かつ効果的な事業運営に努めました。</p> <p>(1)の国保、後期及び公費負担医療に関する診療報酬審査支払の実施では、前年度に対し国保の被保険者数は「97.84%」と減少していますが、診療報酬支払額は「102.04%」と増加しています。 また、後期高齢者医療では、被保険者数「100.35%」、診療報酬支払額「102.62%」と共に増加しています。</p>
<p>喜友名 審査管理 課長</p>	<p>(10)昨年からはじめた風しんの追加的対策に係る費用決済業務の実施では、国が見込んだ沖縄県の受検人数が「3万6千人余り」に対して、検査をされた人数が「9,739件」で、受検率が26.71%に留まっております。</p> <p>本県は「観光立県」を掲げながらも風疹の予防接種率が低く、外から持ち込まれた場合に感染拡大が危惧されているため、引き続き県民への周知に努めます。</p>
<p>川満 システム管 理課長</p>	<p>システム管理課長の「川満達也」です。よろしくお願ひします。 次に、17頁をご覧ください。 「10 保険者事務電算共同処理事業・後期高齢者医療事務電算処理事業」では、保険者の事務の合理化や経費節減を図るため、保険者に共通する事務を一元的に電算処理するとともに各種情報を提供しました。</p> <p>(7)資格喪失後受診レセプトの保険者間調整業務では、県内29保険者において2億762万4千円を協会けんぽから国保へ取り戻しました。</p>
<p>植木 保険者支援 課長</p>	<p>続いて、「11 医療費助成事業」では、子育て支援や市町村が行う受給者への支払事務の簡素化を図るため、 (1)こども医療費助成事業「自動償還方式」から (4)重度心身障害者医療費助成事業「自動償還方式」まで、市町村の医療費助成事業を支援しました。</p>
<p>川満 システム管 理課長</p>	<p>次に、18頁をご覧ください。 「12 国保保険者標準事務処理事業」では、国保改革に伴う新たな保険者事務が効率的に実施されるように(1)から(3)のシステム運用及び導入支援を行いました。</p>

ここで、赤い点線囲み枠をご覧ください。

①本会では、市町村の国保事務を共通化する目的で「市町村事務処理標準システム」の全市町村導入を推進しています。

②システムの導入に際しては、国の財政支援が受けられ、

③導入後の法改正に際しても国が無償で改修するなど、メリットがあります。

④また、本会では、同システムの「共同クラウド化」も推進しています。

⑤共同クラウドでは、機器の保守管理を本会が一括で行うため、各市町村の管理業務の軽減が期待できます。

比嘉  
介護福祉  
課長

続いて、「13 介護保険関係事業」では、審査支払業務を適正に実施するとともに、保険者における介護給付適正化対策の支援に努め、介護サービス苦情処理については、関係機関との連携・協力を図り的確に対処しました。

19頁をご覧ください。

「14 障害者総合支援法関係事業」では、障害介護給付費及び障害児給付費の審査支払業務を迅速適格に実施し、市町村業務の軽減に努めました。

植木  
保険者支援  
課長

次に、20頁をご覧ください。

「15 母子保健健康診査費審査支払事業」では、市町村の事務負担の軽減を図るため、妊産婦等の健康診査費に係る審査支払業務を実施しました。

なお、令和元年度の支払確定件数は「22万1千件」で、支払確定額は「13億7,008万8千円」であります。

大城  
事務局次長

続いて、「16 国保の広域化支援業務」では、県へ職員1名を派遣し、保険給付の適正実施の確保に関する業務等を支援しました。

「17 国への財政支援要請」では、沖縄県、沖縄県市長会、沖縄県町村会、沖縄県市議会議長会、沖縄県町村議会議長会と共に、令和元年8月と12月に沖縄県の国民健康保険事業に対する国への財政支援要請行動に参加しました。

次に、21頁をご覧ください。

本会の財産目録ですが、1と2は土地と建物の所有状況です。

1の土地につきましては、令和2年2月20日開催の通常総会の議決に基づき、令和2年3月27日に会館建替え用地として県有地を取得いたしました。

また、3 預金は、一般会計のほか6つの特別会計の預金残高ですが、「6,234万3千円」となっています。

次に4 積立金の保有額は、総額で「14億5,910万5千円」となっています

。

次に、22頁をご覧ください。

この表は、本会が行っている事業の一覧表です。後ほどご覧ください。

以上が、令和元年度の事業実績です。よろしくお願いいたします。

議 長

只今、事務局の説明が終わりました。

質疑がありましたら、よろしくお願いいたします。

<進行の声>

議 長

それではお諮りいたします。

議案第1号を、認定することにご異議ありませんか。

<異議なしの声>

議 長

ご異議なしと認めます。

よって、本件は認定されました。

次に、議案第2号から第8号までを一括議題とします。

事務局の説明を求めます。

<事務局説明>

高良  
事務局長

23頁と24頁をご覧ください。

令和元年度における各会計の決算状況を説明する前に、一般会計のほか6つの特別会計の歳入歳出決算総括表等により全体概要をご説明します。

右下をご覧ください。全会計の  
歳入総額は、「4,221億6,355万4千円」で  
歳出総額が、「4,221億 121万円」となり  
差引残額が、「6,234万3千円」となっています。

次に、25頁をご覧ください。  
この3つの表は、全会計の決算状況を 1「診療報酬等の支払勘定」、  
2「支払勘定的な支出」、3「実質の事務・管理費」に分類したものです。

以上が、令和元年度 歳入歳出決算状況の全体概要です。  
続いて、各会計の決算状況の説明は、担当次長・課長からご説明いたし  
ます。

大城  
事務局次長

26頁をご覧ください。  
議案第2号からの決算の説明は、歳入歳出の主な増減を説明します。  
まず、歳入3款 県支出金の減は、医療費及び健診データ分析事業の不用額に  
伴う減額です。  
5款 繰入金の減は、経費等の削減等により歳出に見合った額に減額しまし  
た。

次に、歳出2款 総務費の不用額は、財務会計・人事給与・債権管理シス  
テムのプログラム改修費等の減、及び国保会館の修繕料が当初予算を下回っ  
たことによるものです。

その結果、一般会計の決算額は  
歳入が 9億 148万5千円で  
歳出が 8億9,625万4千円となり  
差引残額は 523万円で、翌年度繰越となります。

古堅  
審査担当  
次長

次に、27頁をご覧ください。  
議案第3号についてですが、歳入1款 手数料の減は、補正で見込んだレ  
セプト件数を下回ったためです。  
7款 繰入金の減は、システム機器等の入札結果により、減価償却引当資産  
等からの繰り入れを減額したものです。  
9款 諸収入の減は、保険者間調整療養費受入金が当初見込みより下回っ  
たことによるものです。

次に、28頁をご覧ください。

歳出1款 総務費の不用額は、事務経費等の低減等によるものです。

5款 事業費の不用額は、各事業の事務経費の低減等によるものです。

7款 諸支出金の不用額は、歳入第9款と同様の理由によるものです。

その結果、業務勘定の決算額は、

歳入が 11億8,516万4千円で

歳出が 11億7,506万1千円となり

差引残額は 1,010万2千円で、翌年度繰越となります。

喜友名  
審査管理  
課長

次に、29頁をご覧ください。

国民健康保険診療報酬支払勘定の決算額は、

歳入が 1,158億3,939万5千円で

歳出が 1,158億3,085万1千円となり

差引残額は 854万4千円で、翌年度繰越となります。

続いて、公費負担医療に関する支払勘定の決算額は、

歳入が 64億216万5千円で

歳出が 63億9,063万2千円 となり

差引残額は 1,153万3千円で、翌年度繰越となります。

次に、30頁をご覧ください。

出産育児一時金等に関する支払勘定の決算額は、

歳入歳出ともに 9億7,070万円で、差引残額はありません。

古堅  
審査担当  
次長

次に、31頁をご覧ください。

議案第4号についてですが、歳入4款 繰入金の減は、システム機器等の入札結果により減価償却積立引当資産からの繰入を減額したためです。

続いて、歳出1款 総務費の不用額は、事務経費等の低減等によるものです。

4款 事業費の不用額は、各事業の事務経費の低減等によるものです。

その結果、業務勘定の決算額は、

歳入が 7億3,258万1千円で

歳出が 7億1,671万9千円となり

差引残額は 1,586万2千円で、翌年度繰越となります。

喜友名  
審査管理  
課長

次に、32頁をご覧ください。

後期高齢者医療診療報酬支払勘定の決算額は、

歳入歳出ともに1,404億1,315万9千円で、差引残額はありません。

続いて、公費負担医療に関する支払勘定の決算額は、

歳入が 4億8,711万8千円で

歳出が 4億8,711万7千円となり

差引残額は、 1,000円で、翌年度繰越となります。

植木  
保険者支援  
課長

次に、33頁をご覧ください。

議案第5号についてですが、

歳入3款 国庫支出金の増は、特定健診システム機器更改経費が補助対象となったためです。

5款 繰入金の減は、システム機器入札結果等により減価償却引当資産からの繰入を減額したものです。

続いて、

歳出1款 総務費の不用額は、システム機器購等の入札残によるものです。

その結果、決算額は、

歳入が 1億6,105万3千円で

歳出が 1億6,067万8千円となり

差引残額は 37万4千円で、翌年度繰越となります。

次に、34頁をご覧ください。

特定健康診査・特定保健指導等費用支払勘定の決算額は、

歳入歳出ともに 11億2,746万8千円で、差引残額はありません。

比嘉  
介護福祉  
課長

次に、35頁をご覧ください。

議案第6号についてですが、業務勘定の歳入5款 主治医意見書料受入金の減は、取扱件数が当初見込を下回ったためです。

8款 繰入金の減は、システム機器等の入札結果により、減価償却積立引当資産からの繰入を減額したためです。

続いて歳出1款 総務費の不用額は、システム導入経費及び電算機器購入の際の入札残等によるものです。

5款 主治医意見書料支出金の不用額は、歳入5款と同様の理由です。

その結果、業務勘定の決算額は、

歳入が	3億4,799万4千円で
歳出が	3億4,057万3千円となり
差引残額は	742万1千円で、翌年度繰越となります。

次に、36頁をご覧ください。

介護給付費支払勘定の決算額は、

歳入が	1,019億1,238万5千円で
歳出が	1,019億1,231万円となり
差引残額は	7万5千円で、翌年度繰越となります。

続いて、公費負担医療等に関する報酬等支払勘定の決算額は、

歳入が	20億5,723万9千円で
歳出が	20億5,720万1千円となり
差引残額は	3万8千円で、翌年度繰越となります。

次に、37頁をご覧ください。

議案第7号についてですが、業務勘定の歳入3款 繰入金の減は、システム機器等の入札結果により、減価償却積立引当資産からの繰入を減額したためです。

続いて、歳出1款 総務費の不用額は、介護同様、システム導入経費及び電算機器購入の際の入札残等によるものです。

その結果、業務勘定の決算額は、

歳入が	9,836万8千円で
歳出が	9,696万1千円となり
差引残額は	140万6千円で、翌年度繰越となります。

続いて、障害介護給付費支払勘定の決算額は、

歳入歳出ともに	481億4,079万4千円で
差引残額は	ありません。

植木  
保険者支援  
課長

次に、38頁をご覧ください。  
議案第8号についてですが、

歳入1款 健康診査費受入金の減は、妊婦健診等が当初見込みを下回ったため  
です。

2款 手数料の減は、取扱件数が当初見込みを下回ったためです。

続いて、

歳出1款 健康診査費支出金の不用額は、歳入1款と同様の理由です。

2款 健康診査費支払事業費の不用額は、  
費用決済システム保守経費の低減によるものです。

その結果、決算額は、

歳入が 13億8,647万7千円 で

歳出が 13億8,472万5千円 となり

差引残額は 175万2千円 で、翌年度繰越となります。

高良  
事務局長

以上が、令和元年度の各会計の決算でございます。

なお、これらの各会計の決算につきましては、39頁と40頁にあります  
ように「監事による決算の監査」と「独立監査人による決算監査」を受けて  
いることを御報告いたします。

また、只今説明しました、議案第3号から議案第7号の特別会計業務勘定  
から発生した決算剰余金については通常、保険者の皆さまへ清算している  
ところですが、国税庁通知に基づく計算方法により単年度収支の計算をした  
結果「赤字であること」、そして「新型コロナウイルスの影響で、4月から6  
月の手数料収入が大きく減少している状況であること」から、決算剰余金を  
手数料と清算して保険者の皆様へ償還することは大変厳しい状況である  
こと、なお収支が不足する場合は、財政積立金を取り崩して収入を確保する  
必要があることをご報告申し上げます。

以上、よろしく申し上げます。

議 長

只今、事務局の説明が終わりました。  
質疑がありましたら、よろしく申し上げます。

<進行の声>

議 長

それではお諮りいたします。  
議案第2号から第8号まで、認定することにご異議ありませんか。

〈異議なしの声〉

議 長

ご異議なしと認めます。  
よって、ただいまの7件は認定されました。

次に、議案第9号から議案第11号までを一括議題とします。  
事務局から説明してください。

大城  
事務局次長

〈 事務局説明 〉

41頁をご覧ください。

議案第9号についてですが、この制定は国保会館建替え用地として沖縄県から購入した県有地を、会館建替えまでの間、職員等の駐車場として貸与しその駐車料金をもって、不動産取得税、固定資産税、土地の維持管理等に充てるための制定です。

次に、42頁の議案第10号をご覧ください。

只今、ご説明いたしました駐車場管理特別会計の制定に伴い、歳入第1款 使用料及び手数料で職員等からの駐車料金を受け入れ、歳出第1款 駐車場費は、駐車場周辺の樹木伐採等に要する経費、2款 積立金は、駐車場の整備に要する費用の施設整備積立金、3款 諸支出金は、土地にかかる税金等に充てるため、一般会計へ繰り出すための予算です。

なお、駐車料金は、那覇市及び浦添市の小中学校教職員の駐車料金を参考にするとともに、本会近隣の民間駐車料金の半額程度となる月額「5,000円」を上限として、理事長と調整のうえ設定しております。

その結果、予算の総額を「482万1千円」といたしました。

次に、43頁をご覧ください。

議案第11号についてですが、この補正は、議案第10号の駐車場管理特別会計から繰入金を受け入れ、土地にかかる税金等の諸経費に充てるための補正です。

その結果、予算の総額に

「327万1千円」増額し、補正後の予算総額を

「4億8,983万3千円」とするものです。

議 長

以上、よろしく申し上げます。  
只今、事務局の説明が終わりました。  
質疑がありましたら、よろしく申し上げます。

<進行の声>

議 長

それではお諮りいたします。  
議案第9号から第11号まで、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

<異議なしの声>

議 長

ご異議なしと認めます。  
よって、ただいまの3件は可決されました。

次に、議案第12号を議題とします。  
事務局から説明してください。

<事務局説明>

高良  
事務局長

それでは44頁をご覧ください。  
議案第12号についてですが、現在、北部地区推薦の本会理事に1名に欠員が生じておりますので、役員選任規則第2条及び第3条に基づき、北部市町村会へ推薦依頼を行ったところ、大宜味村の「宮城<sup>みやぎ</sup>功光<sup>のりみつ</sup>」村長の推薦がありましたので、本総会において補充選任していただくための提案でございます。

以上、よろしく申し上げます。

議 長

只今、事務局の説明が終わりました。  
本件は、推薦団体からの推薦に基づくものでありますので、そのまま採決したいと思いますが、よろしいでしょうか。

<異議なしの声>

議 長

それではお諮りします。  
議案第12号は、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

<異議なしの声>

議 長

ご異議なしと認めます。  
よって本件は原案のとおり可決されました。

以上で、すべての審議が終了しました。  
これで、議長の任を終了させていただきます。  
皆様のご協力、ありがとうございました。

<議長降壇>

司 会

野国町長、誠にありがとうございました。  
これをもちまして、令和2年度第1回通常総会を終了いたします。  
どうもありがとうございました。

<閉 会>

沖縄県国民健康保険団体連合会規約第18条の規定により、ここに署名する。

北谷町長

野 国 昌 春

令和2年度第1回通常総会出席者名簿

	市町村長名	本人	書面	代理	欠席	代理氏名		市町村長名	本人	書面	代理	欠席	代理氏名
那覇市	城間幹子		○				豊見城市	山川仁			○		市民部長 大城辰也
うるま市	島袋俊夫			○		課長 神田成啓	八重瀬町	新垣安弘	○				
沖縄市	桑江朝千夫			○		課長 島袋勝博	与那原町	照屋勉	○				
宜野湾市	松川正則	○					南風原町	赤嶺正之	○				
宮古島市	下地敏彦	○					久米島町	大田治雄	○				
石垣市	中山義隆		○				渡嘉敷村	座間味秀勝	○				
浦添市	松本哲治			○		福祉健康部長 高江洲幸子	座間味村	宮里哲	○				
名護市	渡具知武豊		○				粟国村	新城静喜		○			
糸満市	當銘真栄			○		課長 大山市子	渡名喜村	桃原優	○				
国頭村	知花靖	○					南大東村	仲田建匠	○				
大宜味村	宮城功光	○					北大東村	宮城光正	○				
東村	當山全伸	○					伊平屋村	伊礼幸雄	○				
今帰仁村	喜屋武治樹			○		副村長 謝花良竹	伊是名村	前田政義	○				
本部町	平良武康			○		副町長 伊野波盛二	多良間村	伊良皆光夫	○				
恩納村	長浜善巳	○					竹富町	西大舛高旬		○			
宜野座村	當眞淳	○					与那国町	外間守吉	○				
金武町	仲間一	○					南城市	瑞慶覧長敏			○		市民部長 永吉盛哲
伊江村	島袋秀幸	○					医師国保	宮城信雄				○	
読谷村	石嶺傳實	○					沖縄県	玉城康裕				○	保健医療部医療企画統括監 真栄城守
嘉手納町	當山宏	○											
北谷町	野国昌春	○											
北中城村	新垣邦男	○											
中城村	浜田京介	○											
西原町	上間明			○		福祉部長 小橋川健次							

小計 14 3 7 0

小計 13 2 3 1

会員数 43

本人出席	27 人
書面出席	5 人
代理出席	10 人
	42 人

欠席 1 人